



みやぎ

— 88号 —

発行元 独立行政法人国立病院機構宮城病院
 発行責任者 広報委員長 稲木 涼子
 〒989-2202
 宮城県亶理郡山元町高瀬字合戦原100番地
 TEL 0223-37-1131 FAX 0223-37-3316
 ホームページ <http://www.mnh.go.jp/>

令和7年度 山元町及び亶理町並びに宮城病院相互協力協定に基づく意見交換会開催される

事務部長 山本 等

去る10月20日(月)13時30分から当院ダイケア棟大会議室にて、今年で11回目となる令和7年度山元町及び亶理町並びに宮城病院相互協力協定に基づく意見交換会が開催されました。

はじめに、橋元伸一山元町長より「地域医療を取り巻く環境は年々変化しており、人材確保など課題も多様化し、医療と行政が一体となって取り組むことが大変重要である。加えて、物価高騰による医療資材や運営コストの増加、医療アクセスの格差、救急医療体制の維持といった課題も顕在化しており、これらに対しても地域全体での連携と支援が不可欠である。宮城病院については、本町のみならず亶理、名取地区の病床を有する貴重な拠点病院である。両町と病院のさらなる連携強化に努めて参りたい。」と挨拶がありました。

当院安藤肇史院長より「小雨が降る中でのクリーンキャンペーン参加への感謝。当院も人材確保や経営が厳しい状況の中、亶理郡の中で唯一入院病床を持つ病院として、地域のため医療を提供してきた。当院の理念である「良い医療を安全に、心を込めて」に「地域とともに」を加え、今後も、10年、15年、この地域の中核病院として宮城病院が存続できるよう、ぜひ山元町及び亶理町と今後とも協力していきたい。」と挨拶しました。

その後、山元町から令和6年度連携事業及び令和7年度事業計画について説明があり、当院からは「非常に厳しい経営状況や医師・看護師確保への両町の協力、災害時の水の供給」などについて説明しました。

意見交換では、両町から金銭的な面と併せて医師や看護師の人員確保などについても、こちらでできることは協力させていただきたいとお話がありました。

最後に、山田周伸亶理町長より「本日の意見交換会において、両町との連携事業に加え、病院が抱える課題についても報告いただき活発な意見交換ができた。郡内唯一の病院である宮城病院は、子供から高齢者まで幅広い年齢層に対応しており、救急医療をはじめとして地域において大変心強い存在である。今後も、三者協定を基盤に、山元町、亶理町、宮城病院が一層連携を強化し、亶理郡の地域医療を守っていくことを期待している。」とのご挨拶で締めくくりました。

当院は、入院・外来診療のほか、訪問看護・リハビリ、地域包括支援センター事業受託など、亶理郡唯一の病院として両町と密接な連携を図り地域医療に貢献して参りますので、引き続き地域のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



山元町長・安藤院長・亶理町長

【基本理念】 『よい医療を安全に心を込めて、地域とともに』

【行動理念】

- 1、私たちは生命と人権を尊重し、患者さんを中心とした質の高いチーム医療を推進します。
- 2、私たちは難病、重症心身障害など国が担うべき医療と臨床研究を推進します。
- 3、私たちは地域の医療・行政機関と連携し、地域の方々への質の高い医療の提供及び疾病予防、健康増進に貢献します。
- 4、私たちは病院の機能を十分発揮できるよう、健全な経営と経営基盤の強化に努めます。
- 5、私たちは常に患者さん方から学び、向上する組織体を目指します。
- 6、私たちは健康で明るく働きがいのある職場づくりに努めます。



宮城病院公式マスコット

キャラクター

「みやべりー」

宮城病院
Instagram



※読み取ってください

「イップス」～身近な不随意運動症～

先日、NHKクローズアップ現代で「イップス」について特集番組が放送されました。ご覧になったかたもいらっしゃるかもしれません。

イップスはゴルファーに起こる手の痙攣やかたまりにより生じる不随意運動を指します。医学的にはtask-specific dystonia（動作特異的ジストニア）と呼ばれています。最近では、ゴルフ以外の競技選手に生じる不随意運動も「イップス」と称されることがあります。医学論文ではこれを「sport-related dystonia（スポーツ関連ジストニア）」として報告されており、長距離マラソン、アイススケート、卓球、テニス、ビリヤード、野球でも報告されています。番組に出演したプロゴルファーの宮里藍選手もイップスに悩まされた経験をインタビューで述べています。

では、その頻度はどれくらいなのでしょう。日本のゴルファーを対象にした研究では、1,450人のうち実に567人（39%）がイップスの症状を有すると報告されています。一方、ゴルフ以外の競技におけるスポーツ関連ジストニアの頻度について報告はほとんど存在しません。

報告が少ない理由には、以下の二つが考えられます。

第一に、医療専門家による認識不足が挙げられます。スポーツ関連ジストニアが医療現場で十分に認識されていないため、別の疾患と誤診されている可能性があります。ある研究では梨状筋症候群、跛行、筋ジストロフィー、コンパートメント症候群など、多くの誤った診断がなされていたと報告されています。

第二に、患者の受診躊躇が挙げられます。この症状についての認識が十分ではないため、医学的な相談に至らない可能性があります。さらに職業への影響についての懸念から、医療機関への受診をためらうことも、診断の遅延につながる要因になっています。

「これはスポーツ選手に限った問題である」と思われるかもしれませんが。しかし似たような症状を呈する方は皆さんの周囲にいるかもしれません。イップスは動作特異性ジストニアの一種に過ぎません。代表的な動作特異性ジストニアには以下の疾患があります。

書痙：書く動作時に手指に不随意的な筋緊張や痙攣が生じ、正常な筆記ができなくなる疾患

音楽家ジストニア：楽器演奏時に手指や手に不随意的な筋緊張が生じ、演奏能力が低下する疾患

番組では理容師の事例が取り上げていました。

実際の症例として、私が経験した寿司職人の例があります。この患者さんは、寿司を握る際に右手が動かなくなり、寿司が握れなくなるという症状を呈していました。このような患者さんの多くは、医学的な診断を受けることなく、症状に対する対応について検討されないまま、長期にわたり困難な状況が続いている可能性があります。

これまで動作特異性ジストニアは医学現場でも社会的にも十分な注目を受けてきませんでした。

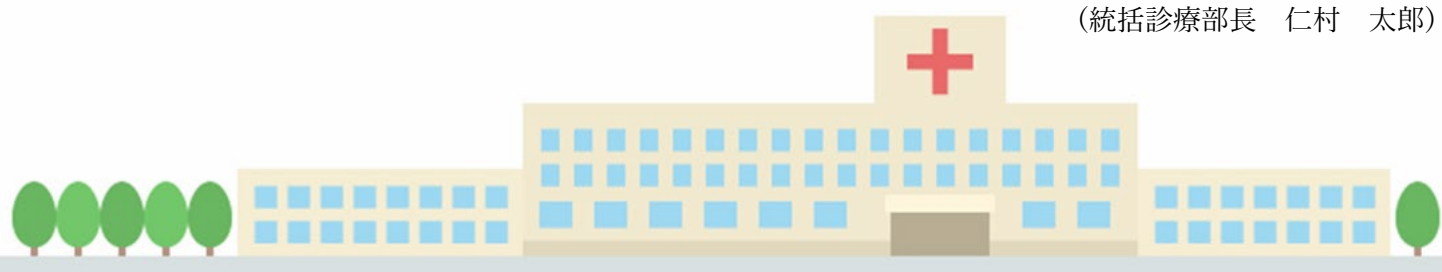
本症は直ちに生命の危険をもたらすわけではありません。しかし、医学的な相談を通じて、症状の理解と対応方法を検討することで、社会生活への適応を大きく改善することができます。

このような症状でお困りの方がいましたら、専門の医療機関への受診をお勧めします。

（参考文献）

Lenka A, Jankovic J. Sports-Related Dystonia. Tremor and Other Hyperkinetic Movements. 2021; 11(1): 54, pp. 1-10. DOI: <https://doi.org/10.5334/tohm.670>

（統括診療部長 仁村 太郎）



地域医療連携室・医療相談室から

こんにちは 医療相談員の川村です。

今回は、「医療相談」についてお話しします。

医療相談室では、入院時・外来通院時における心配事や医療費の支払い、また病気やケガによって生じる不安や課題について一緒に考え、解決のお手伝いをさせていただきます。

例えば、

「介護保険って聞いたことはあるけど、どうやって手続きすればいいの？」

「入院が必要と言われたけどお金のことが心配…」

「障害者手帳についての話を聞きたい」

「退院後の生活が不安。何をどこからしたらいいのか分からない…」

など、様々な心配事が出てくるかと思えます。そのような時は1人で抱え込まず、まずはお気軽に悩みや不安をお聞かせください。公的制度や福祉サービスなどの活用によって、患者さん・ご家族が自分らしく社会生活を送れるように支援させていただきます。また、必要に応じて、他の医療機関、行政、福祉サービス、院内スタッフなどとも連携を取っていきます。

現在は、看護師4名、医療相談員3名で対応しています。ご相談の際は、当院の代表番号へお電話いただくか、または直接医療相談室までお越しください。

(医療社会事業専門員 川村 健太)



～高齢者の皆様の「困ったな～」を一緒に考え支援します～

山元町地域包括支援センターは、保健師、主任介護支援専門員、介護支援専門員、社会福祉士、認知症地域支援推進員、生活支援コーディネーター、事務の計8名のスタッフが配置されています。相談内容に応じ、各専門職種が対応いたします。

今年度は毎月約480件の相談対応を行っていますが、1番多い相談は「介護保険に関すること」です。介護保険について話を聞きたい、介護保険申請の仕方がわからない等、ご相談いただければ電話や訪問で対応いたします。他にも健康相談や一人暮らしの心配事なども伺い、適切なサービス利用や関係機関のご紹介などを行います。ご本人からの相談のみならず、ご家族、ご近所の方からも多くご相談を受けております。

私たち地域包括支援センタースタッフは、相談・支援をさせていただく中で、地域の皆さんおひとりお一人の考えや希望、ライフスタイルを尊重し、その方らしく安心して楽しく生活できることを大切にしております。

何かお困りごとがありましたら、まずお気軽に地域包括支援センターにご相談ください。

(地域包括支援センター 佐藤 かおり)



連絡先：
0223-37-1171



山元町クリーンキャンペーン

平成27年度から、山元町・亶理町をはじめとする近隣企業、ボランティアの皆さま、そして宮城病院職員による敷地内の環境整備（草刈り・木の伐採）を実施しております。

本年は10月11日（土）に開催し、総勢282名の皆さまにご参加いただきました。

当日は台風接近により天候が不安定で、開催が危ぶまれる状況でしたが、例年と変わらぬ多くのご参加を賜り、心より御礼申し上げます。最終的には雨脚が強まったため途中で中止となりましたが、短時間のうちに予定区域のほぼすべてを整備することができました。悪天候の中ご協力いただいた皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。

職員のみで草刈りを進めても、整備した場所がすぐに元通りになってしまい、限界を感じていたところでした。クリーンキャンペーン当日、多くの方々の力が一つとなり、広大な敷地が見違えるようにきれいになっていく様子に、ただただ感謝の気持ちでいっぱいになりました。

このような活動が一度きりではなく、毎年継続して行われていることこそ、地域の皆さまからの温かいご支援の証だと実感しております。

宮城病院は、これからも地域に愛され続ける病院として歩んでまいります。 （管理課長 小林 孝之）



寄附について

個人・企業の皆さまからのご寄付を賜り、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

独立行政法人国立病院機構宮城病院では、患者様に高度で安全な医療を提供するため、施設の整備、療養環境整備、職員の教育など有効に活用させていただきます。

当院の運営のために、格別のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

（給与係長 鈴木 元）

※公開のご了承をいただいた方のみ、ご芳名を掲載しております。

（令和7年ご寄付等受領分）

令和7年7月31日

株式会社 やまいち
鈴木 昌弘 様

令和7年10月20日

高橋 典子 様

職場紹介

中央病棟 4階

中央4階病棟が地域包括ケア病棟となり、あっという間に2年近くがたちました。

地域包括ケア病棟は、地域包括ケアシステムの構築に必要な病棟として位置づけられます。地域包括ケアシステムはざっくり言うと「高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるように支援するシステム」です。地域包括ケアシステムという言葉が介護保険法で使用されたのは2005年ですが、起源自体は広島のとある地域の「ねたきりゼロ運動」で、1980年代！からの活動とこと。改めて勉強してみると、自分が知らなかった歴史や活動があり、奥深さをしみじみと感ずみます。山元町は県内4位、そして周囲の市町村も

県内有数の高齢化率であり、病棟の患者さんの平均年齢も83歳となっています。日々患者さんと接しながら「より適した環境で生活できるようになるためには、どんな支援をしていく必要があるのかな」と悩む毎日でもありますが、当院には地域医療連携室、地域包括ケアセンター、訪問看護ステーション、外来、リハビリ科等等、頼れる人々がたくさんいますので、皆の力に感謝しつつ、地域包括ケア病棟の役割を全うできるよう全力を尽くしていきたいと思ひます。

(看護師長 小野寺 青葉)



職場紹介

外来

宮城病院外来は内科、脳外科、脳神経内科などの10診療科と頭痛外来、ふるえ外来（FUS外来）、もの忘れ外来などの9つの専門外来診療を行っています。診療の合間のクマ目撃情報の放送や救急車の音など耳をダンボにして（死語かもしれませんが・・・）師長、スタッフ9名で診療の介助を行っています。検査などでお待ちしていただく場合もありますが、優しく寄り添った思いやりのある外来看護を提供できるように頑張っています。

さて最近では寒くなりインフルエンザで学級閉鎖ということを目にすることが多くなりました。10月からインフルエンザ、新型コロナウイルスワクチン接種が始まっています。また肺炎球菌ワクチン接種も行っていますので外来看護師にお問い合わせ、ご相談ください。

外来には色々な掲示物があります。定期的にパンフレット等も入れ替えようと考えていますのでどうぞご覧ください。

(看護師長 大槻 育恵)

インフルエンザ予防接種のお知らせ

10月1日(水)からインフルエンザ予防接種を実施します。ご希望の方は、各診療科で事前にご予約をお願いします。誠に恐れ入りますが、ワクチンの在庫がなくなり次第終了とさせていただきますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

◎接種料金
(13歳以上の方) 5,000円(税込)

○近隣地区の公費助成が受けられる方の自己負担額は、下記のとおりです。(助成期間は、令和8年1月まで)

山元町、亘理町、新地町にお住まいの方	65歳以上の方	1,200円
	60歳～64歳で一定の障害がある方	
上記で生活保護受給者証を提出された方		0円

※ 上記以外の宮城県内の方は、各市町村発行の予診票をお持ちください。
※ 宮城県外の方や各市町村の予診票をお持ちでない方は、通常の接種料金を請求させていただきます。
65歳以上の方や低所得世帯を対象に助成制度が受けられる場合がありますので、各市町村にお問い合わせください。
※ 13歳未満(小学生まで)の方への接種は実施しておりませんのでご了承ください。

診療科	曜日	月	火	水	木	金
脳神経内科 (新患は予約制)	新患	張替 宗介	宮本 達夫 (新患のみ) 船山 由希乃 (第1・3・5)	宮澤 康一 (新患・再来)	松本 有史	割田 仁 (新患のみ) 齋藤 早紀 (第1・3・5)
	再来	宮本 達夫	割田 仁 (第2・4 再来のみ)	松本 有史 (再来のみ)	張替 宗介	金子 仁彦 (第2・4)
内科		清野 仁	清野 仁	志澤 聡一郎	清野 仁	清野 仁
		志澤 聡一郎	小野 祥直	齊藤 秀行	志澤 聡一郎	志澤 聡一郎
		齊藤 秀行		小野 祥直		菊地 章子
循環器内科	午前		佐藤 公一	加藤 浩	東北大学病院から	
	午後		東北大学病院から (検査日)			
呼吸器内科			佐野 寛仁			
消化器内科	午後			県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(水を基準)	県立がんセンターから (13:30~15:30) 第2・4週(木を基準)	
アレルギー科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
小児科	午前	堀川 雅浩		堀川 雅浩		堀川 雅浩
		東北大学病院から		東北大学病院から		東北大学病院から
整形外科	午後					県立がんセンターから (13:30~15:30)
形成外科				舘 一史		澤村 武 (週替わり 13:30~15:30)
皮膚科	午前				東北大学病院から	
脳神経外科		仁村 太郎	安藤 肇史	仁村 太郎	(手術日)	安藤 肇史
			永松 謙一 (不定期)			
歯科		稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子	稲木 涼子
		中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子	中原 寛子
専門外来 (予約制)	パーキンソン病外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	頭痛外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	もの忘れ外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	ALS外来	脳神経内科外来にて受け付け				
	ふるえ外来(FUS外来)	脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)		脳神経外科 (予約制)
	糖尿病外来				医科薬科大学病院から	
	禁煙外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	女性外来	午後				山本 蒔子 (第2・4週)
	腎臓病外来	午後				公済病院から (第1・3週)
入れ歯外来			白石 成		重光 竜二	

受診される方へ

①受付時間は8時30分から11時です。
 ②土曜日・日曜日・祝日・休日及び年末年始(12月29日から1月3日)は休診です。
 ただし、**急患の方は随時受付いたします。問い合わせ先 0223-371131**
 ③初めて当院を受診される方は、他の医療機関からの紹介状をお持ちください。紹介状がなくとも受診はできますが、その場合初診時に**2750円を負担**していただくこととなりますので予めご了承ください。



交通のご案内

●自動車でおいでの方●

■仙台方面から■

仙台市中心部から南へ約40km、国道4号線と6号線分岐点から南へ20km、国道6号線314.5kmポイント(標識)が目印です。

高速道路ご利用の場合、常磐自動車道山元ICで降り、国道6号線を相馬方面へ南下。山元ICから約5km。

■相馬方面から■

国道6号線を仙台方面に向かい、宮城・福島県境から約10分です。

●交通機関をご利用の方●

■仙台方面から

JR常磐線山下駅下車。タクシーまたは町民巡回バス利用。(詳しくはお問い合わせください)

